

平成30年度

開催報告

(公社)砂防学会北海道支部研究発表会

日時：平成30年5月11日(金) 14:30～17:15

会場：北海道大学農学部本館4階大講堂

砂防学会北海道支部では、北海道内の研究者・技術者を主たる対象として、学会の発表練習・研究に関する情報交換を目的に、平成30年度(公社)砂防学会北海道支部研究発表会を開催しました。

発表会では、研究発表8件の他、平成28年台風10号で災害発生が多くみられた、扇状地河川での計画・対策評価に用いられる河床変動計算技術の適用事例・活用上の留意点について、北海道大学工学研究院地域防災学研究室久加朋子特任准教授より「扇状地河川における河床変動計算～平成28年台風10号災害ペケレベツ川を例に～」と題して特別講演を頂きました。大学・研究機関・行政機関・民間コンサルタントから、約110名の参加者があり、活発な質疑応答が行われました。



支部長挨拶 北海道大学農学研究院
国土保全学研究室 小山内特任教授



特別講演
北海道大学工学研究院 久加特任准教授



研究発表・質疑応答



発表会参加者

- ・本研究発表会の参加により、(一社)建設コンサルタンツ協会のCPD認定プログラム2.50単位が認められます。
- ・本発表会は砂防学会公募研究会「北海道における継続的な土砂移動に関する研究会」の活動でもあります。

平成30年度

(公社) 砂防学会北海道支部研究発表会

プログラム:

14:30～14:35 支部長 開会挨拶

14:35～14:50 「十勝平野西部芽室川及び久山川に見られる沖積低位段丘の形成史と2016年8月豪雨での侵食」
古市剛久（北海道大学農学研究院）

14:50～15:05 「平成28年台風10号出水による十勝川支川の河道変化の特徴」
李 学強, 柳井一希, 塩野康浩（国土防災技術北海道株式会社）

15:05～15:20 「平成28年8月豪雨に伴う戸蔦別川の土砂移動実態の定量的評価」
永野統宏（日本工営株式会社）

15:20～15:35 「2016年台風10号により発生したペケレベツ川の大規模土砂移動の再現検討」
宮崎知与, 澤田雅代, 片桐碧衣（株シン技術コンサル）

休憩5分

15:40～16:10 特別講演
「扇状地河川における河床変動計算 ～平成28年台風10号災害ペケレベツ川を例に～」
北海道大学大学院工学研究院地域防災学研究室 久加 朋子 特任准教授

16:10～16:25 「日高山脈東麓における平成28年台風10号豪雨による土砂移動現象のその後」
林真一郎（北海道大学農学研究院）

16:25～16:40 「AHP法による地すべり評価事例」
森笠典之, 小野田敏(株式会社ユニテック), 高山陶子(アジア航測株式会社)

16:40～16:55 「北海道における砂防堰堤の劣化予測と長寿命化計画の検討」
小野田篤史（北海道建設部建設政策局維持管理防災課維持グループ）

16:55～17:10 「平成28年8月豪雨に伴う北海道上川町(層雲峡)の土石流と降雨との関係に関する考察」
早川智也（日本工営株式会社）

17:10～17:15 支部長 講評・閉会挨拶